



【Check - 評価】

(1) 前年度評価シートの改善内容の実施状況

平成19年度の改善予定	平成19年度の改善結果
自治会の予算決算の管理等について指導を行い、自治会の管理運営業務の自立を支援する。	いくつかの自治会においては収支報告書等の記載内容に改善が見られるなど成果もあがっているが、まだ若干の自治会において、記載の不備や手続きの遅延などが見受けられる。(全体説明会3回、個別指導随時)

(2) 事務事業の評価

評価の視点	評価のポイント	評価	理由
妥当性	事務事業を実施する必要があるのか	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当である <input type="checkbox"/> あまり妥当ではない	自治基本条例が施行され自治会の自己責任による自立した活動が求められているが、同条例で規定する住民活動の育成支援という意味で必要と考える。
	町が主体となって実施する必要があるのか	<input checked="" type="checkbox"/> 町が行わなければならない <input type="checkbox"/> 町が行った方がよい <input type="checkbox"/> 町が行うべき必然性が低い	町からの配布等依頼との関係や自治基本条例の住民活動育成支援の意味から、町が行うべきと考える。
有効性	対象者の満足度や事業の達成度はどうか(成果指標の状況)	<input type="checkbox"/> 十分成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> 成果は十分とはいえない <input type="checkbox"/> 成果は上がっていない	会計指導などにより自治会活動がオープンになることで自治会への理解を深め、加入割合の増を目指す、自治会員の理解が得られる段階に至っていない。
効率性	事業費に無駄はないか	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切だが改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 効率的でない	自治会活動交付金は自治会の事業規模に関係なく、世帯数を基準に交付金が算定されている。自治会活動に見合った交付額になるような改善が必要と考える。また、自治会長連絡協議会への補助金も明確な補助基準が必要である。

【Action - 改善】

(1) 事務事業を進めていく上での課題、解決に向けての改善内容

	課題	平成20年度	平成21年度以降
妥当性			
有効性	自治会加入率が低い。予算決算も含めた自治会活動の透明性が低い。	自治会規約の整備状況把握と活動内容分析を行い、各自治会に規約の公表と会計の公表を求める	規約未整備及び会計未公表の自治会に対する指導
効率性	自治会活動に見合った自治会活動交付金への制度改正	自治会活動交付金の現状分析と見直しの検討	自治会活動交付金の見直し、公益性の高い活動への支援

(2) 事業の今後の方針(課長による評価)

活動指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input checked="" type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	自治会内部の活動指標として適当。
成果指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input checked="" type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	加入率の低下が言われているが、自治会の資質・活動を捉えるのに良い。
事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・廃止・終了 <input type="checkbox"/> 統合
理由・内容	まんべんのない世帯数補助から、実活動の公益性に着目した補助が必要。